

演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-302

必修 2単位

鈴木 智弘

1. 授業の概要(ねらい)

本演習は、経営戦略論の基礎を学ぶと同時に、就職活動に備えて様々なスキルを身につけることを目的とします。演習Ⅰで、マーケティング、経営戦略論を用いた事例分析を学んだので、演習Ⅱでは、各自が、現時点での就職希望企業(業界)、あるいは興味のある企業(業界)を3つ程度選び、その企業や業界について、分析し発表してもらいます。そのことを通じて、就職先の選択と事前研究を行います。また、志望企業(業界)に入社するために、自分の強みと弱みを把握し、自分の「就活戦略」を策定します。

演習Ⅰで指摘しましたが、勉学以外のゼミ活動を、教員がゼミ生に強いることはありませんが、勉学での手抜きは容認しません。皆さんは成人ですので、必要以上に干渉しませんが、ゼミ参加者が、就職活動で苦戦しないように、教員の責任として、プレゼンや基本的なビジネス・マナーについて、一通り指導します。より積極的な指導を求める学生には、ゼミ教員として、誠実にお付き合いします。

演習Ⅱも演習Ⅰの方針を継続しますが、ゼミにゲストとして最前線のビジネスパーソンを招き、机上の空論ではないリアルな企業経営について、そして、企業側が、どのような人材を求めるのかを率直に話して頂きます。具体的な日程は、ゲストと調整し、第2回から第14回授業日(各自の研究企業、業界の発表)のいずれかに3回程度、ゼミにお招きする予定です。授業時間外にお招きすることはありません。また、キャリアサポートセンターに依頼して、ゼミの場での4年生の就職活動発表会なども予定しています。

2. 授業の到達目標

経営戦略論、マーケティング論を用いて、企業や業界分析ができるようになること。自分の強みと弱みを客観的に認識できるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

ゼミでの発表内容と履修態度(人事管理における情意考慮のようなものです)によって、S、A、B、Cと成績評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

特に指定しません。

参考文献

小倉昌男 小倉昌男経営学 日経BP社

5. 準備学習の内容

夏季休業中に、各自が、その時点での就職希望企業(業界)あるいは、興味のある企業(業界)を3つ程度選び、演習Ⅰで学んだ経営戦略論の視点を、調査を始めること。

6. その他履修上の注意事項

自分自身のSWOT分析を他人の前で発表することに抵抗がある場合は、ゼミ教員が個別にコメント・指導します。コロナ禍が続いているかもしれませんが、自分の人生は自分で切り開くモノです。コロナ禍を免罪符にしないように。

7. 授業内容

- 【第1回】 グループ業界研究発表(演習Ⅰの業界研究の最終報告)
- 【第2回】 就活戦略の立て方(経営戦略、マーケティング戦略に基づいて、自分のセルフプロデュース戦略)
- 【第3回】 各自が興味のある業界や企業の発表(各自、3社あるいは3業界)
- 【第4回】 各自の研究企業、業界の発表
- 【第5回】 各自の研究企業、業界の発表
- 【第6回】 各自の研究企業、業界の発表
- 【第7回】 各自の研究企業、業界の発表
- 【第8回】 各自の研究企業、業界の発表
- 【第9回】 各自の研究企業、業界の発表
- 【第10回】 各自の研究企業、業界の発表
- 【第11回】 各自の研究企業、業界の発表
- 【第12回】 各自の就活戦略の発表
- 【第13回】 各自の就活戦略の発表
- 【第14回】 各自の就活戦略の発表
- 【第15回】 ゼミの総括(オンデマンド授業)